

(様式b) 改善計画書

施設名 G&Cホーム ブルーミング (担当者: 安田・山川)

(作成年月日 平成 29年 3月 30日作成)

(施設として続けられる優れている点)	1	利用者向けの研修や会議等、利用者の意見を反映できる取り組みを多く行っている点をブラッシュアップして、より利用者が満足できる施設をつくっていく。						
	2	利用者さんがどのような取り組みを施設として行っているのか分かるように、掲示等の工夫を続けていく。						
	3	今まで行ってきたマニュアル整備について、組織的に毎年検討を実施していく。						
	4	職員への研修・メンタルヘルスへの取り組みを継続していく。						
	5	朝の会議を通じて、職員間のコミュニケーション・情報共有を引き続き行っていく。						
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
すぐにできること	1	エンパワメントを重視した利用者プログラムを作る	具体的なプログラムを作り、利用者に周知	1年	2017年4月1日	2018年3月31日	金銭管理・公共交通機関・衛生面のプログラムの原紙を作り、会議で検討後各個人に合わせたプログラムで対応していく。	安田・山川
	2	クラブ活動や利用者向け研修の充実	ニーズを把握し、計画的に実施していく	1年	2017年4月1日	2018年3月31日	利用者さん向けのクラブ活動を計画・実施し余暇の充実を図る。利用者さんに必要な研修を計画をし、実施を行う。実施後も振り返りを行い、継続的にしていく。	全職員
	3							
	4							
	5							
工夫すればできること	1	ボランティア・実習生受け入れ態勢整備	受入れ基盤を作る	1年半	2017年4月1日	2018年9月30日	ボランティア等の受入についてどのように受け入れていくのか検討する場を設ける。また専門学校等訪問し、実習生等受入について営業をしていく。ボランティアに関しては、媒体等も使い積極的に法人をアピールしていく。	山下
	2	地域に法人のことがより伝わる努力が必要	より地域へ法人をアピールしていく	1年	2017年4月1日	2018年3月31日	法人パンフレットを地域に置く。また、地域行事にも積極的に参加をしていく。	安田・山川
	3	利用者の生活ニーズをより実現していく	地域移行等を積極的に実現していく環境整備をする	1年	2017年4月1日	2018年3月31日	個人への聞き取り、実現可能への検討会議の実施をしていく。相談支援事業所とも連携会議を行っていく。	全職員
	4	地域資源を活用していく中で「障がい」への理解や啓発を進めていく	より地域に開かれた事業所となる	3年	2017年4月1日	2020年3月31日	積極的に地域との関わりを持ち、コミュニケーションを図る。その中で当事業所が地域の中で出来る役割を果たしていく。	全職員
	5							
予算化しないとできないこと	1	消防法等の改正	耐震・防災設備について整備していく	2年	2017年4月1日	2019年3月31日	補助金等の申請も行い、大家との相談・利用者負担について検討していく。	金原・畠山
	2	地域や現在の利用者さんのニーズにより対応が必要	重度・高齢者のグループホームについて検討	3年	2017年4月1日	2020年3月31日	定期的に検討し、実現の可能性について議論して幹部会にあげていく。	金原・畠山
	3							
	4							
	5							